

# 秋田市の先人たち

正岡子規門下の俳人

石井露月

明治六（一八七三）年生

昭和三（一九二八）年没

雄和女米木生まれ



## 主な事蹟

明治時代を代表する俳人正岡子規に俳句を学び、多くの俳句を作り、河東碧梧桐、高浜虚子等と並ぶ俳人と称された。郷里の女米木に帰ってからは医業のかたわら、貧しい住民の生活向上や夜学会を通じての青年教育等に尽力するほか、村政の刷新にも多大な業績を残した。また県内の俳誌「俳星」等の選者としても活躍した。